

# 平成29年度「新春 初日の出 in平和祈念公園」 実績報告書

平成30年1月1日  
沖縄県平和祈念財団



## 1 本事業の目的

平和祈念公園は、戦没者の慰霊と平和を発信するために設置された都市公園であり、1年の家族の平安や世界の平和を祈るのに最もふさわしい場所であることに加え、太平洋に面し、視界をさえぎるものもなく海が広がる平和祈念公園には無料の駐車場やトイレが完備しており、安心して初日の出を拝むことができることから、例年、元旦には多くの県民が訪れる初日の出見物の隠れスポットとなっている。

その平和祈念公園において、年の初めに家族の平安と世界の平和を祈念していただき、平和祈念公園に関心を持っていただくため、「新春 初日の出 in平和祈念公園」を開催した。

## 2 主催

- (1) 主催：公益財団法人沖縄県平和祈念財団

## 3 内容

昨年に続き天気も良く、多くの人出があり、多目的テラス広場の展望台を含めると約2,500名ほどの参加者があった。



平和のメッセージや新年の抱負宣言、平和の大なべの提供などの関連イベントを行い、参加者を喜ばせた。

また、平和の礎の広場では、糸満市内の創作エイサー煌紅-KIRAKU-によるエイサー演舞もあり、参加者が見入っていた。

### (1) 初日の出を拝む会

日時：平成30年1月1日 7時00分～  
8時00分(日の出07:15)

場所：平和祈念公園平和の礎南側  
高台及び多目的テラス広場展  
望台

参加者数：約2,300名(南側高  
台)、約200名(多目的テラ  
ス広場展望台他)



ア 参加者は、初日の出を拝み、平和を祈るとともに、新年に臨むそれぞれの気持ちを新たにした。

イ 今年は天気が良かったものの水平線に雲が出て日の出が約15分遅れ、7時30分頃雲間から初光が照らし、集まった参加者を喜ばせた。

### (2) 初日の出に誓う— 新年の抱負宣言

日時：平成30年1月1日 7時10分～30分

場所：平和の礎平和の広場南側高台

ア 元旦の朝、平和で豊かな日本に住めることに感謝し、新年の抱負を初日の出に向かって大きな声で宣言することにより、自らの今年取り組むことを決意していただくというものである。

イ 昨年と比較すると一般の参加者(男女)が声高に抱負宣言していたのが印象的。照れと積極性が交った中で参加した中学生には宣言以上に「参加することに意義がある」ことを感じた。  
また本番になると中々ことばが出なかった女の子など今年も幅広い年齢層の参加者がいた。



### (3) 新年のメッセージ

日時：平成30年1月1日 7時00分～45分

場所：平和の礎平和の広場南側高台



ア 元旦の朝、平和で豊かな日本に住めることに感謝し、新年の抱負などをメッセージとして表現することにより、自らの今年の夢を確認し、実現に向かって取り組むことを決意していただくというものである。

イ 参加者は 240名で、内容はおおむね次のとおりであった。

【メッセージ内容】

① 世界が平和でありますように②家族が健康で幸せになりますように

③ 楽しい1年になりますように④今年の本気出す ほか

ウ メッセージボードは公園案内所に1月末まで展示。



(4) 平和の大なべ会

日時：平成30年1月1日 7時00分～8時00分

場所：平和祈念公園案内所又は平和の礎南側高台

ア 寒い中集まっていた参加者に温まっていたくとともに、戦時中、満足に食事ができなかったことに思いを致し、現在の平和な日本、美味しいものがいただける豊かな生活に感謝した。

イ 好き嫌いの比較的少ないカレーを、箸やスプーンを使わなくてよいよう具をつぶした液状スープに仕立てて提供した。

ウ 紙コップで約700人余に配布した。



(5) その他

ア 糸満創作エイサー煌紅-KIRAKU-のメンバーが平和の広場でエイサー演舞を披露し、喝采を受けた。

イ 沖縄タイムスの紹介記事・告知欄、地域エフエム放送で取り上げていただき、広く告知することができた。

(6) 課題等

ア この種のイベントは天気によって左右されるものの、新年メッセージや抱負宣言は浸透しつつあり年毎に参加者も増え、広報のあり方により、さらに参加者が広がる可能性を感じた。

イ 英語表記を充実させることにより、外国人の来園も見込むことができると考える。

ウ